

科目名		木造知識演習				
担当教員		渡部 和久		実務授業の有無	○	
対象学科		建築大工科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択		必修	単位数		時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方		建築大工の検定取得の対策として。筆記試験対策をはじめ、大工技術の知識、課題を学び、合格基準に準ずるスキルを習得する 1. 説明→演習→添削と解説を繰り返し行い習得レベル差ごとの指導も適宜行う。 2. 模擬材料の加工の基本を中心に実習し評価・解説する。 3. 条件に則した課題の作り方の手順を理解する。 4. 検定対策として、時間内に作成できるよう、繰り返し修練する				
学習目標 (到達目標)		展開図の基本を習得し、それを理解し原寸図を書けるようになり、建築大工技能検定2級取得を目指します。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料		配布資料				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	規矩術について ①大工技術の基本である規矩術を学ぶ。 ②建築物の屋根の勾配をどのようにして墨付けから加工手法			方法：プリント等の教材を使って説明 ①～②の項目を理解し適正に作成できる。 準備学習：プリントに示されている練習課題の予習と練習		
2	建築大工技能検定についての説明			方法：建築大工技能検定3級がどのような試験内容なのか、どんなことをすれば受かるのかを理解する。		
3	技能検定3級学科問題			方法：3級学科試験の過去問題を繰り返し解答→解説		
4	3級学科模擬試験			方法：3級学科試験の過去問題を繰り返し解答→解説		
5	3級模擬課題の墨付け練習 ①木材を使って墨付け			方法：プリント等の教材を使って説明 ①の項目を理解し適正に作成できる。 準備学習：プリントに示されている練習課題の予習と練習		
6	3級模擬課題の加工、組立 ①模擬材料の材料で墨出しをした材料を加工から組立			方法：プリント等の教材を使って説明 ①の項目を理解し適正に作成できる。 準備学習：プリントに示されている練習課題の予習と練習		
7	3級技能士本番用木材での墨付け・加工・組立 ①本番と同じサイズの木材で一連を通して練習。 ②標準時間内ですべて組立られるよう繰り返し行う。			方法：プリント等の教材を使って説明 ①～②の項目を理解し適正に作成できる。 準備学習：プリントに示されている練習課題の予習と練習		
8						
9						
10						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
平常点	課題	取組姿勢				
20 %	50 %	30 %	%			
成績評価基準は						
A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴		一級建築士として建築現場監督業務を約10年携わる				